

2019年5月1日(水曜日)の東京新聞に パンの缶詰について紹介されました!

東京新聞

2019年(令和元年)5月1日(水曜日)

「令和」パンの缶詰人気

那須塩原 ラベルに平成などずらり



お土産としても人気の「令和」
ラベルの缶詰―那須塩原市で

那須塩原市東小屋のパン製造販売会社パン・アキモトの直営店「石窯パン工房 きらむぎ」で、「令和」をラベルにしたパンの缶詰が販売され、人気を集めている。同社は、非常食のパンの缶詰「救缶鳥」を使った被災地支援で知られる。ラベルには「令和」の文字に加え、大化から平成まで歴代がびっしりと並ぶ。デザイン違いの二種類あ

る。パンは百々入りで、価格は四百五十円。五月六日まで販売する。現在はリング味を販売中で、なくなり次第、別の味に切り替える。店内には「令和」の文字の額縁を掲げて記念撮影できるコーナーもある。同店の担当者は「記念缶はお土産で買っていく人が多い。記念撮影も人気です」と話していた。(小川直人)